

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 令和5年7月13日

(職員話し合い令和5年5月11日実施)

事業所名: きぼうっこアピア

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	部屋が狭くならないように、使用する教材と使用しない教材など整理し、部屋を有効的に使うことが出来るように整理している	はい95%、どちらともいえない3%、わからない3% 走り回れる広さでとてもいいです	引き続き、部屋が狭くならないように教材などを整理し、部屋を有効的に使う事ができるようにする。また11月に移転予定のため、移転後も十分なスペースを確保して支援する
	2 職員の適切な配置	基準の職員以上の職員を必ず配置している言語聴覚士など療育内容に合わせて職員を配置している	はい92%、わからない8% 専門性までは分からない。男性職員さんの配置、良かったと思います！。先生が多く行き届いています	職員の取得資格についてはきぼうっこ使用や保護者会でお伝えしている。今後も保護者の方が安心してお子様を預ける事ができるように伝え、療育内容に合わせて職員配置をする
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	視覚的に示したほうが分かりやすい子どもには、絵カードやスケジュールを個別に提示するなど工夫している 書いたほうが分かりやすい場合には、その都度書いて見ることが出来るようにしている	はい82%、どちらともいえない9%、わからない9% トイレが外にあるので行きづらい、仕方ないのですが少しトイレが遠い、お手洗いが同建物内の他店舗と共同利用なので次の施設では改善できると感じています。整頓されているように思います	現在は商業施設内のトイレを使用している為、トイレまでの距離が遠く、大人用のトイレを使用しているが、11月以降の移転先では施設内に子ども用のトイレを設置予定
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日の掃除以外の場面でも、使用するおもちゃや療育用品などの衛生面には特に配慮している 新型コロナウイルス感染症予防の為、換気や消毒などいつも以上に徹底している		
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	部門別管理目標を職員で考え、振り返りも全職員で行っている		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施していない		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部講師を招いての研修や法人・事業所内研修に参加している また、外部研修にも研修計画に基づき参加している		
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	個別支援計画立案時には、保護者の意見を聞きながら、計画を立てている。必ず保護者とモニタリングを実施し、担当者支援会議を全職員で開き、次の個別支援計画を立案するというサイクルで実施している	はい97%、わからない3% 細かく見て頂いています。	引き続き、子どもの様子を伺い、課題点などを分析・アセスメントを行う また、保護者の相談には随時応じ、支援できるようにする
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成			
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載			
	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画の内容に沿って支援をしている 全職員で支援会議や毎日のフィードバックなどを通じて支援内容を共有している		
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	クラス担当職員中心にプログラム内容を設定し、細かい児童の対応方法は職員間で話し合っ立案している 子どもの様子を見ながらその都度対応方法を検討している		
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、行事関係は全て、児童のみの参加での実施となっているが、季節に合わせた行事やプログラミングなど新しい療育内容も検討し実施している。休日に応じての支援はしていない	はい84%、どちらともいえない5%、わからない11% 様々なゲームなど楽しそうです。個別の課題の時に先生にたまにフィードバックをして頂きたいです。紙だけだと途中までで分からなかったりするので、季節のイベントを親子で楽しめています	引き続きプログラムは職員で立案し、共有実施していく。内容はスモールステップで取り組み、「できた」と言う経験ができるように内容を検討する。また、プログラム内容などについて保護者へ伝わりやすいよう、口頭のみでなくプログラム内容を掲示するなど、WEBカメラと併用して伝わりやすいようにする。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	季節行事や季節の歌を取り入れる事で、固定化されないように工夫している スモールステップで出来ることを増やしていくようにプログラムを工夫している		
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎回必ず朝のミーティングで行っている(時間差で出勤する職員にもその都度伝えている)当日の担当業務を表で表し、分かりやすくしている		
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	毎回必ず療育終了後に振り返りを行い次の支援に繋げていくことが出来るようにしている		
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎回記録をしっかりと取り、全職員で振り返りを行うことで、次回の療育時に改善点を反映させている 個別療育の内容は毎回記入し保護者にも見て頂いている(フィードバックもしている)		
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	最低6か月に一回実施している(状況が変わる子どもはそれ以外でも実施している)		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	必要に応じて相談支援事業所と連携し、担当者会議に参加することがある		必要に応じて保護者と相談しながら相談事業所と連携し、担当者会議に参加していく(児童発達支援管理責任者や担当職員が参加)保護者希望があれば園にも出向く
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	必要に応じて事業所での本人の様子をまとめたものを作成し保護者にお渡ししている(必要であればたからっノートを活用している)		モニタリングや計画を通して、子どもの状況を分かりやすく書面に記載し、幼稚園や保育園などにも提出して頂けるようにしているサポートブックやたからっノートへの記載も詳しく丁寧に第三者に伝わりやすいようにしている
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、			
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	児童発達支援センター主催の研修などに参加している 毎年、希望される保護者中心にペアレントトレーニングを実施している(7年目である)		
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	新型コロナウイルスの影響もあり、今年度は地域との交流は実施しなかった。R5年度はコミュニティプラザ開設に伴い、地域住民との交流の機会を増やしていく予定		
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営			
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に利用者負担などについて重要事項説明書で説明している 療育の終了後は、当日実施した支援の内容について説明をしている	はい100% 丁寧に説明されています	引き続き、丁寧に保護者へ説明を行い、必要に応じて不明点などにも答えていく
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	契約時に内容説明し、個別支援計画立案時にも保護者に説明している		
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレントトレーニング等の支援の実施	ペアレントトレーニングは年に1回希望者を募って実施している(R4年度は11名の参加者)参加の提案をさせて頂く場合もある	はい97%、どちらともいえない3% 丁寧に説明されています。課題に対してのアドバイスを迅速にくれ、大変助かっています	引き続き、ペアレントトレーニングを実施し、講習の終了後もフォローアップ講座等開催できるようにしていく
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	療育終了後、個別療育の内容、集団療育の際の子どもの様子など保護者に必ずフィードバックしている		新型コロナウイルスの影響もあったが、療育後のフィードバックや相談等については、電話で対応するなど感染対策を徹底して実施する事ができた。また、日ごろの様子情報共有も来所時やフィードバック時にすることができた。今後も引き続き行っていく場合によっては連絡帳なども使用し情報共有や相談対応を行っていく
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	その場で解決できる事はその場で相談に対応している 難しい内容については、持ち帰り、職員間や関係機関と話し、後日保護者へフィードバックさせて頂いている 保護者の希望に応じて、時間を取って相談させて頂くこともあった	はい84%、どちらともいえない14%、いいえ3%	
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	新型コロナウイルス感染拡大防止のために、保護者参加型行事は全て中止となった。保護者会は感染状況を見ながら令和4年度は年長児、年中児保護者対象に1回実施する事ができた。コロナが収束次第再開予定。	はい26%、どちらともいえない26%、いいえ24%わからない24% コロナ禍で仕方が無かったと思う。ペアレントトレーニングが育児を客観的に見れる良い機会となりました。コロナにより保護者会が無い為	R4年度は新型コロナウイルスの影響により、例年実施していたお芋ほりなどの保護者の交流の場としての行事などが中止となった。今年度は保護者参加型の行事を再開していく予定
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	掲示板に苦情解決体制の用紙を掲示している 苦情に対しては、法人内で情報共有し水平展開を図りながら、それぞれの事業所の事として、考えるようにしている 法人苦情解決規程に基づいて適切な対応を行っている	はい95%、どちらともいえない3%、わからない3% 対応がとても速くて助かります	引き続き、苦情に繋がる前に、日頃から保護者とコミュニケーションを図り、解決出来るようにしていく 職員同士でも保護者から聞いた話の内容を情報共有し、迅速に対応出来るようにしていく
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	必要に応じて、相手に伝わりやすい方法で配慮している(メモを渡す、絵カードを使用する、声のかけ方、タイミングを工夫する)	はい97%、わからない3%	引き続き、それぞれの児童の発達特性を考えながら必要な配慮をしていく
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	きぼう号(広報誌)の発行、ホームページの更新、行事などは事前に用紙で案内するなどし発信している 毎月ホームページを更新した際には、玄関の扉に更新したお知らせを掲示して情報を発信するようになっている	はい59%、どちらともいえない16%、いいえ3%、わからない22% 希望の家HPの更新も毎回楽しみます	ホームページが更新された際には、現在より分かりやすい方法で玄関やきぼうこアピア待合スペースの掲示板で、保護者に知らせる事ができるように検討し、実施する

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	外部からの見学者に対して、見学時の個人情報についての、同意書にサインを頂いていた上で見学して頂いている 事業者間でのやり取り等の書類に関しても、名前をイニシャル表記するなどしている 法律に基づいて、個人情報はシュレッダーなどで適切に破棄している	はい89%、わからない11%	引き続き、適切な取り扱いを行っていく
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	契約時に避難経路など緊急時の対応について説明をしている	はい89%、どちらともいえない3%、わからない8%	マニュアルは職員間で情報共有をしていく また、保護者にも自由に閲覧できることをお知らせしていく
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に2回定期的に避難訓練を実施し、職員自身が避難経路や災害に備えた訓練が出来るようにしている	はい89%、どちらともいえない3%、わからない8% 少ないとは思いますが...	引き続き、避難訓練実施前に保護者にメモなどで実施内容を周知していく また、防犯(不審者)への対策として、職員間で訓練を実施する
	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	法人虐待対応マニュアルにより職員への周知を図っている 法人内研修に参加している 虐待防止チェック表を実施し、自分の対応方法を振り返るようにしている(職員会議も実施)		
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束は行ってないが、やむを得ず子どもの行動を制止する必要がある場合には、保護者に説明し、了解を得るようにする		
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時、面談シートにて食物アレルギー等の聞き取りを保護者から行っている いろいろなアレルギーがあり、把握しきれない部分もあるため、クッキング行事は実施していない		
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	記録に残し、法人内、事業所内で共有し、改善案を検討し実施している(法人の委員会で話し合いをすることもある)		ヒヤリハットは小さなことでも記録を残す事を行っている。また、その内容を必要に応じて報告書として挙げ、情報共有している。
満足度	※ 子どもは通所を楽しみにしているか 事業所の支援に満足しているか	楽しんで来所して頂けるように、療育内容の工夫や、環境を設定するように努力している 子どもと保護者に寄り添いながら、支援が出来るように全職員で努力している 子どもの行動や発言に対しての気づきを大切に療育を行っている	はい95%、どちらともいえない5% 早く卒業もしたいらしいです。○曜日は行く所と割り切っている所がある。道を覚えていて走って行く。連絡帳を見ていく気になる。幼稚園の園庭開放を50:50なので来年度からは曜日を変えて楽しんで通えるようにします! 概ね満足しているがもう少し専門的な意見などが欲しい。引き続き通いたいです。	引き続き、子どもが楽しんで通所できるよう工夫したり、保護者に安心して子どもを預けて頂けるように全職員で協力していく。また、より職員の専門性を高めるため、職員の知識を深めより良い支援ができるよう努力する